

JAPAN CLASSIC TOUR

■ジャパンクラシックツアー2015

- ◎2015年9月21日(月)-23日(水)
- ◎長野県あがたの森・白川郷・富山県やまふじぶどう園など
- ◎問:ヒストリックカーミーティング実行委員会 <http://www.historiccarmeeting.com/>

text & photo: Hidenori TAKAKUWA (高桑秀典)
写真 & 取材協力: ヒストリックカーミーティング実行委員会



ファミリーで楽しむ新スタイルのイベント

3日間で400kmあまりを走破する行程にて、9月中旬に開催された『ジャパンクラシックツアー2015』は、これまでに11回ほど実施されてきたヒストリックカーミーティングの発展・進化版と呼べるイベントだ。エントラントにヒストリックカーを元気に走らせられる遊び場として活用してもらい、さらにヒストリックカーに対する理解を少しでも広げたい、ということを中心とした目的としている。

実際に仲間内だけで気合いを入れて走るのではなく、夫婦はもちろん、家族連れでも気軽に参加できる雰囲気作りがなされており、子どもと一緒に参加したエントラントの姿も確認できた。ファミリーで楽しめる新スタイルのヒストリックカーイベントとして、今後、ますます注目度を増していくだろう。

日程は3日間となっており、ヒストリックカーミーティングに比べて走行距離が伸ばされたこともあり、ジャ

パンクラシックツアーは旅の要素が大幅に増えることとなった。それと同時に競技性やラグジュアリー性も高められ、エントラントは充実した3日間を過ごしたことだろう。

なお走行ルートは、松本市を起点として、安曇野、飛騨高山、白川郷、白山白川郷ホワイトロード、金沢、砺波、富山を巡るというもので、初日は長野県山形村でのランチ後に実施された清水高原でのスペシャルステージ(ヒルクライムPC競技)がハイライトとなった。

2日目は白山白川郷ホワイトロードの走破、最終日はサブライズでのヘリコプター体験飛行などがエントラントを楽しませた。

これほどまでに豊富なコンテンツが多い盛り込まれたヒストリックカーイベントは存在しないので、来年3月の伊勢サミットイベントにも気軽に参加してほしい。

スタート後の最初のスタンプポイント/PC競技会場は山形村役場だった。伝統芸能の太鼓が鳴り響く中、PC競技を行なった。その後、湯沢そば集落でランチを堪能。



DAY1 旧制松本高等学校の遺構が残るあがたの森公園をスタート地点とした初日は、安曇野一帯を走り、宿泊先である岐阜県高山市奥飛騨温泉郷へと向かった。



参加車は、スタート地点であるあがたの森を30秒間隔で出発する。セッケン00番のジャガーモーター Sr.1 FHCをドライブしたのは、当日イベントの主催者である天野氏だ。

木漏れ日が美しいあがたの森公園では、参加車両がセッケン順に整列。自由に見学できたので、カメラを持参した数多くのクルマ好きが世界各国のヒストリックカーを撮影した。



ヒルクライムのスペシャルステージは道路封鎖された約5kmの区間を10分で走るといふもので、平均速度は約30km/hの設定だった。



初日のハイライトといえるヒルクライムは、安全が確保された占有走行といふかたちで行われた。約5kmのルートは変化に富み、勾配が急なところもあったので、パワフルクルマでも十分楽しめた。10分で走るといふ設定だったので、スタート地点の直前で速度調整するクルマが多かったようだ。



安曇野市役所でも太鼓によるパフォーマンスがエントラントを盛り立てた。ここでも公開PC競技の会場だったので、数多くのキャリーがつかめた。



初日最後のPC競技は安曇野ワイナリーで実施。競技終了後に参加者ペーキングが連発された。その後、サラ街道、上高地を通過するリエン区間を走り、エントラントは宿泊先として設定された奥飛騨ガーデンホテル焼岳まで愛車を走らせた。



ヒルクライム後、スカイランドきよみずで小休止しつつ、スタンプポイント/PC競技の会場となった安曇野市役所に立ち寄った。その後、スタンプポイントの佐野養蜂園、安曇野めぐりの森ガーデン・森の果樹園へ移動。森の果樹園のスタンプポイントでは男子の子が押印を担当し、参加者たちを和ませた。安曇野めぐりの森ガーデンの駐車場を出た各車は、次なるスタンプポイント/PC競技の会場である安曇野ワイナリーに向かった。



DAY2 奥飛騨ガーデンホテル焼岳がスタート地点となった2日目は、高山市、白川郷を
 経由しながら石川県を目指し、ゴール地点である富山県砺波市へと向かう。



2日目の行程は219.51kmだったため、朝は
 早めの8時スタート。まず、スタンプポイントと
 して設定された赤かぶの里に立ち寄り、その後、
 まつりの森にてPC競技を行った。

白山白川郷ホワイトロードは当ツアー
 最大の山場で、標高600~1450m、
 全長33.38kmのワインディングロードを
 ヒストリックカーが疾走する。



まつりの森でのPC競技
 後、白川郷へ向かった。合
 掌造りの味地 白水壺で
 飛騨牛ランチを堪能した
 エントランスには、白山白
 川郷ホワイトロードを走り、雄
 大な景色を満喫しながら
 石川県白山市を目指した。



ランチ後に白山白川郷
 ホワイトロードを走り、石
 川県に入った参加者は、
 白山市にある道の駅 湯女
 でPC競技を行った。山を
 駆け上ってきたヒストリ
 ックカーにはキツイ3連のPC
 競技だった。



道の駅 湯女でPC競技を
 行った後、第六園、金沢城
 公園を通り、しいき迎賓
 館(スタンプポイント/ミス
 加賀支援がお出迎え)で
 キャンーに愛車を展示し
 た。休憩後に北陸自動車
 道で砺波ICまで走り、
 チューリップ四季彩館にて
 PC競技を実施。2日目の
 宿泊先は砺波ロイヤルホ
 テルだった。この日の夜は
 当日イベントの名物となっ
 ているディナーパーティで
 大いに盛り上がる。

DAY3 参加者のほとんどが遠方からの参加だったため、各地へ戻る時間を考慮して午後2時
 解散とされた最終日。風光明媚なポイント巡りがメインで、PC競技は行われなかった。



観光スポット巡りを主としたプログラムとなった最終日は、砺波ロイヤル
 ホテルをスタート後、まず、海王丸パークまで移動。ここで海沿い
 の広場に各車を展示し、その後、富山の新名所として有名な新湊大
 橋を渡った。



ヒストリックカーで長距離を走ったという印象だけを持ち帰ってもらうのでは
 なく、様々なプレゼントや思い出と共に帰宅してほしいというヒストリックカー
 ミーティングの伝統が今回のツアーにも継承されていた。それが最後のサブ
 ライズ、ヘリコプター愛好家クラブの厚意による体験飛行だ。ぶどう園から
 富山市上空へのフライトを楽しむ。



ツアーのゴール地点は、や
 まふじぶどう園で、当地のぶ
 どう畑の下でバーベキュー
 を楽しんだ。女性の参加者
 が多いこともあり、様々なプ
 レゼントが女性陣に運呈さ
 れている。



無事にゴールしたヒストリックカー
 たちは、ぶどう園中央のグリーン上に並べ
 られた。当地にて表彰式が行われ、そ
 の後、参加者全員で記念写真を撮
 った。Aクラスは安藤組が優勝し、2位は
 荒川/寒川組、3位は森田/丹田組
 だった。

毎年12月に実施してきたヒストリ
 ックカーミーティング伊勢志摩だが、来
 年5月に開催される伊勢志摩サミット
 を盛り上げるためのイベントとし
 て行われることになり、3月12~13日
 に催されることが決定した。



次の舞台はサミットで沸く伊勢志摩!
 「CLASSIC CAR SUMMIT」